

新任取締役略歴

添付④

竹部 幸夫

(タケベ ユキオ)

生年月日： 1960年 4月 8日生

最終学歴： 1983年 3月
東北大学法学部卒業

入社： 1983年 4月 当社入社

略歴：

1983年	4月	石炭部
89年	6月	米国三井物産(株)
95年	7月	石炭部
99年	2月	石炭部/主席
2000年	4月	原料炭部/主席
01年	4月	電力炭部/主席
02年	4月	製鋼原料部
02年	9月	製鋼原料部/室長
03年	3月	英国三井物産(株)/GM
06年	10月	欧州三井物産(株)D. O. O.
07年	7月	欧州・中東・アフリカ本部D. O. O. 兼 欧州三井物産(株)D. O. O.
08年	5月	石炭部
09年	6月	LNG第二事業部
10年	4月	石炭部長
12年	5月	エネルギー第二業務部長 兼 エネルギー第一業務部長
13年	4月	執行役員金属資源本部長
14年	8月	執行役員金属資源本部長 兼 製鋼原料部長
14年	10月	執行役員金属資源本部長
15年	4月	執行役員 インドネシア三井物産(株) 社長
16年	4月	常務執行役員 豪州三井物産(株) 社長 兼 ニュージーランド三井物産(有) 会長(在メルボルン) 現在に至る

選任理由： 金属資源・エネルギー分野での卓越した見識と実績、当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格、金属資源本部長やインドネシア物産社長、豪州物産社長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を取締役会の意思決定と業務執行監督に活かすべく、今回取締役候補者となりました。今後は当社中核分野である金属資源・エネルギーを中心に、同氏が長年に亘り培ったグローバルベースの有力パートナーとの連携の下、更なる事業拡大に貢献してくれることを期待します。

所有株式数： 14,703株

新任取締役略歴

内田 貴和

(ウチダ タカズ)

生年月日： 1960年 9月 24日生

最終学歴： 1983年 3月
東京大学農学部卒業

入社： 1983年 4月 当社入社

略歴：

1983年	4月	食料会計部
86年	5月	資金部
91年	3月	財務部
92年	9月	休職(労働組合専従)
94年	9月	機械・情報経理第二部
95年	6月	市場リスク管理部
96年	12月	プロジェクト金融部
98年	4月	米国三井物産(株)
2002年	6月	米国三井物産(株)/GM
03年	10月	財務部/室長
08年	5月	経営企画部/室長
11年	6月	市場リスク統括部長
12年	4月	総合資金部長
14年	4月	執行役員財務部長
17年	4月	常務執行役員財務部長
		現在に至る

選任理由： 経理・財務関連業務に於ける卓越した専門知識と実績、当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格、市場リスク統括部長、財務部長等の経験を通じて培われた優れた経営手腕を取締役会の意思決定と業務執行監督に活かすべく、今回取締役候補者としました。これらの経験や見識を最大限活かして、財務基盤強化と事業ポートフォリオの良質化に貢献してくれることを期待します。

所有株式数： 17,811株

新任取締役略歴

堀 健一

(刺 ケンイチ)

生年月日： 1962年 1月 2日生

最終学歴： 1984年 3月
慶応義塾大学経済学部卒業

入社： 1984年 4月 当社入社

略歴：

1984年	4月	精密化学品部
88年	6月	Business School研修員(Chicago・MBA)
90年	6月	米国三井物産(株)
92年	12月	出向[Novus International, Inc.](精密化学品部) (在セントルイス)
95年	9月	精密化学品部
99年	10月	業務部
2000年	10月	業務部 兼 eMitsui事業部
01年	11月	企業投資開発部
02年	7月	企業投資開発部/室長
05年	4月	金融市場本部
06年	3月	米国三井物産(株)S.V.P. & GM
07年	7月	米州本部D.O.O. & 米国三井物産(株)S.V.P. & GM
09年	10月	商品市場部長
10年	7月	IR部長
13年	4月	経営企画部長 兼 韓国三井物産(株)理事(在東京)
14年	4月	執行役員経営企画部長 兼 企画室長 兼 韓国三井物産(株) 理事(在東京)
16年	4月	執行役員ニュートリション・アグリカルチャー本部長
17年	4月	常務執行役員ニュートリション・アグリカルチャー本部長 現在に至る

選任理由： 化学品、食料・流通事業、次世代・機能推進各分野に於ける卓越した見識・実績、当社経営幹部の一角を担うに相応しい人格、商品市場部長、IR部長、経営企画部長、ニュートリション・アグリカルチャー本部長等の経験を通じて培った優れた経営手腕を取締役会の意思決定と業務執行監督に活かすべく、今回取締役候補者としました。これらの経験や見識を最大限に活かし、重点注力分野での事業拡大を通じた企業価値向上に貢献してくれることを期待します。

所有株式数： 10,531株